

令和5年度 県立和歌山高等学校第3回学校運営協議会

① 日 時 令和6年2月2日（金）14：00～16：00

② 場 所 県民文化会館 展示室・502会議室

③ 日 程

1 開 会

2 和歌山高校展観覧

総合学科芸術関係の授業やクラブ活動の1年間の成果を発表する場として、毎年この時期に開催している和歌山高校展を観覧していただいた。



* 油彩画・デザイン・工芸・素描等の美術科授業作品、漢字・仮名・漢字仮名交じり等の書道科授業作品、音楽科授業作品、家庭科授業作品、情報科授業作品、美術部作品、書道部作品、写真部作品、文芸部作品、育友会・職員・旧職員・卒業生等作品など587点を展示

- ・ 作品発表の良い機会になっている。さらに広報をして多くの人に見てもらおう工夫が必要。
- ・ 今までで一番レベルが高く、見応えがあった。
- ・ 学校の自由な様子が作品に表れている。元気が伝わってくる。
- ・ 生徒たちの授業の様子、学校での活動の様子を知る良い機会になっている。
- ・ 多岐にわたる活動を一カ所で見ることができるのが良い。
- ・ 和歌山高校展の様子が分かるスライド（動画）を作ってはどうか。
- ・ 28年続いているのはすごいと思うが、マンネリしているところもある。変化も必要ではないか。（作品紹介を生徒がする等）

3 本年度の振り返りと次年度の取り組み

学校評価（生徒、保護者、教職員）の結果について

校長より本年度の振り返りと次年度の取り組みについて

本年度の進路状況について 説明を行い、協議を行った。

- ・ ICTの活用は、接続等に課題はあるが工夫しながら進める必要がある。
- ・ 生徒の意識を変えるのは難しいが、粘り強く頑張りたい。
- ・ 学校評価は、三者共通の質問があると比較できてデータとして分かりやすいと思う。
- ・ 入試の幅広がっている（一芸、AO等）ので、生徒への動機付けが大切。入学するのが目的ではなく、目標を強く持つようにするのが学校の役割、その結果が進路の結果に繋がる。



愛校心を育て、地域に愛される学校にするため取り組んでいく、地域の中核を担う学校になるため、地域との交流を積極的に行うなど、本年度の総括をふまえて次年度への方向性を共有、確認した。